

患者さんおよび代理人の方へ

「高齢集中治療患者さんの予後に関する後方視的検討」について

高知大学医学部附属病院集中治療部では、現在、2012年1月1日～2016年12月31日の間に集中治療室に72時間以上入室し、24時間以上の人工呼吸管理を受けた20歳以上の患者さんを対象に、予後に関する調査研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

[研究概要および利用目的]

高知大学医学部附属病院集中治療部では、入室患者さんの予後を少しでも改善できるように日々、最善と考えられる治療を行っています。高知県は高齢化が進んでおり、高齢の患者さんも多く集中治療を受けられています。海外において、高齢患者さんの予後などを検討した研究がいくつかありますが、国内においては十分で分かっていません。

そこで、今回、私たちはこれまで当院集中治療室で治療をお受けになられた患者さんの予後を検討することにいたしました。カルテから患者さんのデータを収集させていただき、予後を調査すると共に、その予後に影響を与えた因子を検討いたします。今回の検討を元に、他の多くの施設の集中治療部と共同で日本全体の患者さんの予後を検討し、よりよい予後の実現のためにデータを利用させていただきます。

[取り扱うデータ]

患者さんのカルテから以下のデータを収集させていただきます。すでにカルテに記載のあるデータのみですので、本研究の目的のために新たに検査などを行うことは一切ありません。

年齢、身長、体重、入室理由、入室時の重症度スコア(APACHEII・SOFA)、入室前の活動状態、栄養管理方法、透析有無、人工呼吸期間、透析使用の有無、リハビリ開始時期、ICU退室時のリハビリ状態、ICU退室時転帰、ICU退室日、退院時転帰、退院日、退院時のリハビリテーションの状態、退院時のせん妄の有無

[個人情報保護の方法]

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座の鍵のかかる保管庫に保管します。情報管理は矢田部智昭（集中治療部・講師）が責任をもって行います。

[研究参加による利益・不利益]

利益・・・本研究にデータを提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、この研究の成果によっては、今後の高齢患者さんにとって、より適切な治療の実施が期待できます。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

[研究終了後のデータの取り扱いについて]

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

[研究へのデータ使用の取り止めについて]

いつでも可能です。患者さんあるいはそのご家族からの代理人（患者さんが、ご自身の意思を伝えられない健康状態にある場合など）がデータを本研究に用いられたくないと考えられた際には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

なお、総同意書でデータの利用について希望されない旨を記載いただいている場合、データの使用は行いませんので、改めてお申し出いただく必要はありません。

[問い合わせ窓口]

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身（患者さん）のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、あるいはご自身（患者さん）のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

高知大学医学部附属病院 集中治療部 講師 矢田部智昭

連絡先：088-880-2471